

1. 平成20年度に機構が実施した選択的評価事項に係る評価について

1 評価の目的

独立行政法人大学評価・学位授与機構（以下「機構」という。）の実施する認証評価は、大学の正規課程における教育活動を中心として大学の教育研究活動等の総合的な状況を評価するものですが、大学にとって研究活動は、教育活動とともに主要な活動の一つであり、さらに大学は、社会の一員として、地域社会、産業界と連携・交流を図るなど、教育、研究の両面にわたって知的資産を社会に還元することが求められており、実際にそのような活動が広く行われています。

そこで機構では、「評価結果を各大学にフィードバックすることにより、各大学の教育研究活動等の改善に役立てること」、「大学の教育研究活動等の状況を明らかにし、それを社会に示すことにより、広く国民の理解と支持が得られるよう支援・促進していくこと」という評価の目的に鑑み、各大学の個性の伸長に資するよう、大学評価基準とは異なる側面から大学の活動を評価するために、「研究活動の状況」（選択的評価事項A）と「正規課程の学生以外に対する教育サービスの状況」（選択的評価事項B）の二つの選択的評価事項を設定し、大学の希望に基づいて、これらの事項に関わる活動等について評価を実施しました。

2 評価の実施体制

評価を実施するに当たっては、国・公・私立大学の関係者及び社会、経済、文化等各方面の有識者からなる大学機関別認証評価委員会（以下「評価委員会」という。）を設置し、その下に、具体的な評価を実施するため、対象大学の状況に応じた評価部会を編成し、評価を実施しました。

評価部会には、各大学の教育分野やその状況が多様であることなどを勘案し、対象大学の学部等の状況に応じた各分野の専門家及び有識者を評価担当者として配置しました。

3 評価プロセスの概要

※ 評価は、概ね以下のようなプロセスにより実施しました。

（1）大学における自己評価

各大学は、「自己評価実施要項」に従って、自己評価を実施し、自己評価書を作成しました。

（2）機構における評価

① 選択的評価事項ごとに、自己評価の状況を踏まえ、その評価事項に関わる各大学が有する目的の達成状況等について、評価し、その旨を公表しました。

なお、選択的評価事項は、いくつかの内容に分けて規定されており、これらを踏まえ基本的な観点が設定されていますが、目的の達成状況等については、その個々の内容ごとに行うのではなく「基本的な観点」の分析状況を総合した上で、選択的評価事項ごとに行いました。

② 取組が優れていると判断される場合には、その旨の指摘も行いました。

4 評価方法

評価は、書面調査及び訪問調査により実施しました。書面調査は、評価実施手引書に基づき、各大学が作成した自己評価書（大学の自己評価で根拠として提出された資料・データ等を含む。）の分析、及び機構が独自に調査・収集した資料・データ等に基づいて実施しました。訪問調査は、訪問調査実施要項に基づき、書面調査では確認できなかった事項等を中心に調査を実施しました。

5 評価のスケジュール

- (1) 機構は、平成19年5月に、国・公・私立大学の関係者に対し、評価の仕組み、方法などについて説明会を実施しました。
- (2) 機構は、平成19年7月から9月にかけて、以下の3大学の申請を受け、評価を実施することとなりました。
 - 公立大学（2大学）
神奈川県立保健福祉大学（B）、大阪市立大学（A・B）
 - 私立大学（1大学）
日本社会事業大学（A）
- (3) 機構は、平成20年2月に、対象大学の自己評価担当者等に対し、自己評価書の記載などについて説明を行うなどの研修を実施しました。
- (4) 機構は、平成20年6月に、評価担当者が共通理解の下で公正、適切かつ円滑にその職務が遂行できるよう、評価の目的、内容及び方法等について評価担当者に対する研修を実施しました。
- (5) 機構は、平成20年6月末に、対象大学から自己評価書の提出を受けました。

※自己評価書提出後の対象大学の評価は、次のとおり実施しました。

7月	書面調査の実施
8月	評価部会の開催（書面調査による分析結果の整理、訪問調査での確認事項及び訪問調査での役割分担の決定） 運営小委員会の開催（各評価部会間の横断的事項の調整）
10月	訪問調査の実施（書面調査では確認できなかった事項等を中心に対象大学の状況を調査）
12月	運営小委員会、評価部会の開催（評価結果（原案）の作成）

- (6) 機構は、これらの調査結果を踏まえ、平成21年1月に評価委員会で評価結果（案）を決定しました。

(7) 機構は、評価結果（案）に対する意見の申立ての機会を設け、平成21年3月の評価委員会での審議を経て最終的な評価結果を確定しました。

6 評価結果

選択的評価事項においては、その事項に関わる各大学が有する目的の達成状況等について、4段階の評価を実施し、その旨を公表しました。

7 大学機関別認証評価委員会委員及び専門委員（平成21年3月現在）

(1) 大学機関別認証評価委員会

赤 岩 英 夫	前群馬大学長
鮎 川 恭 三	前愛媛大学長
池 端 雪 浦	前東京外国語大学長
江 上 節 子	東日本旅客鉄道株式会社顧問
尾 池 和 夫	前京都大学総長
大 塚 雄 作	京都大学教授
岡 本 靖 正	前東京学芸大学長
荻 上 紘 一	大学評価・学位授与機構教授
梶 谷 誠	電気通信大学長
金 川 克 子	前石川県立看護大学長
北 原 保 雄	前筑波大学長
○小 出 忠 孝	愛知学院大学長
河 野 通 方	大学評価・学位授与機構評価研究部長
児 玉 隆 夫	学校法人帝塚山学院学院長
後 藤 祥 子	日本女子大学長
小 林 俊 一	秋田県立大学長
小 間 篤	科学技術振興機構研究主監
齋 藤 八重子	前東京都立九段高等学校長
佐 藤 東洋士	桜美林大学長
鈴 木 昭 憲	前秋田県立大学長
永 井 多恵子	前日本放送協会副会長
ハンス ユーゲン・マルクス	学校法人南山学園理事長
平 野 眞 一	名古屋大学総長
福 田 康一郎	医療系大学間共用試験実施評価機構副理事長
森 本 尚 武	前信州大学長
山 内 芳 文	大学評価・学位授与機構教授
◎吉 川 弘 之	産業技術総合研究所理事長

※ ◎は委員長、○は副委員長

(2) 大学機関別認証評価委員会運営小委員会

赤 岩 英 夫	前群馬大学長
鮎 川 恭 三	前愛媛大学長
◎荻 上 紘 一	大学評価・学位授与機構教授
金 川 克 子	前石川県立看護大学長
児 玉 隆 夫	学校法人帝塚山学院学院長、前大阪市立大学長
小 間 篤	科学技術振興機構研究主監、東京大学名誉教授

※ ◎は主査

(3) 大学機関別認証評価委員会評価部会

(第1部会)

荻 上 紘 一	大学評価・学位授与機構教授
小 林 康 夫	東京大学教授
◎小 間 篤	科学技術振興機構研究主監、東京大学名誉教授
○鈴 木 昭 憲	前秋田県立大学長、東京大学名誉教授
廣 瀬 和 子	上智大学名誉教授
堀 正 二	大阪府立成人病センター総長、大阪大学名誉教授

※ ◎は部会長、○は副部会長

(第5部会)

上野谷 加代子	同志社大学教授
荻 上 紘 一	大学評価・学位授与機構教授
◎金 川 克 子	前石川県立看護大学長
久保田 紀久枝	お茶の水女子大学教授
蜂須賀 研 二	産業医科大学教授
○前 原 澄 子	京都橘大学看護学部長、元三重県立看護大学長
南 裕 子	近大姫路大学長
○森 正 夫	公立大学協会相談役、前愛知県立大学長
山 縣 文 治	大阪市立大学教授

※ ◎は部会長、○は副部会長

※ 上記評価部会の委員のほか、選択的評価事項Aにおいて書面調査を担当した委員

荒	このみ	東京外国語大学教授
新井	達郎	筑波大学教授
安藤	清志	東洋大学教授
安藤	信廣	東京女子大学比較文化研究所長
池田	辰夫	大阪大学教授
石垣	和子	千葉大学教授
和泉	孝志	群馬大学教授
一瀬	雅夫	和歌山県立医科大学教授
伊藤	公一	千葉大学教授
稲葉	裕	実践女子大学教授
井上	正篤	東京工業大学教授
今井	範子	奈良女子大学教授
上村	大輔	慶應義塾大学教授
宇川	彰	筑波大学教授
宇野	忍	東北大学教授
海野	道郎	東北大学総長特命教授
梅本	実	豊橋技術科学大学教授
江口	公典	慶應義塾大学教授
榎	敏明	東京工業大学教授
榎原	雅治	東京大学教授
大石	芳裕	明治大学教授
太田	正廣	首都大学東京教授
岡	芳知	東北大学教授
岡本	耕平	名古屋大学教授
小川	宣子	岐阜女子大学教授
奥脇	直也	東京大学教授
小野	耕二	名古屋大学教授
片岡	栄美	駒澤大学教授
片山	信一	北陸先端科学技術大学院大学教授
釜江	廣志	一橋大学教授
嘉門	雅史	高松工業高等専門学校長
嘉山	孝正	山形大学医学部長
鞠谷	雄士	東京工業大学教授
菊地	恵善	九州大学教授
鬼崎	信好	福岡県立大学人間社会学部長・大学院人間社会学研究科長
岸本	哲也	早稲田大学客員教授
金田	章裕	人間文化研究機構長
櫛木	謙周	京都府立大学教授
公文	富士夫	信州大学教授

倉 智 恒 夫	千葉大学名誉教授
小 濱 芳 朗	名古屋市立大学教授
小 林 賢 次	早稲田大学特任教授
小 原 孝 夫	兵庫県立大学教授
齊 藤 毅 憲	関東学院大学教授
齋 藤 勉	新潟大学教授
塩 田 浩 平	京都大学理事・副学長
芝 垣 茂	東海大学教授
下 東 康 幸	九州大学教授
住 居 広 士	県立広島大学教授
瀬 古 美 喜	慶應義塾大学教授
副 田 あけみ	首都大学東京教授
竹 村 治 雄	大阪大学教授
田 中 英 一	名古屋大学教授
田 中 喜代次	筑波大学教授
田 中 善一郎	東京工業大学教授
田 村 俊 和	立正大学大学院地球環境科学研究科委員長
丹 治 信 春	首都大学東京大学院人文科学研究科長
津 田 芳 郎	北海道大学教授
戸 倉 英 美	東京大学教授
富 崎 松 代	奈良女子大学教授
豊 島 陽 子	東京大学教授
成 生 達 彦	京都大学経営管理大学院長
仁 田 義 雄	大阪大学教授
仁 平 道 明	東北大学教授
野 嶋 佐由美	高知女子大学看護学部長
橋 本 良 明	高知大学教授
原 口 誠	北海道大学教授
原 田 隆 典	宮崎大学教授
東 正 剛	北海道大学教授
檜 山 隆	熊本大学大学院自然科学研究科長
平 野 由紀子	お茶の水女子大学教授
福 吉 勝 男	名古屋市立大学教授
瀧 上 倫 子	岡山県立大学教授
前 田 雅 英	首都大学東京都市教養学部長
前 原 喜 彦	九州大学教授
松 浦 純	東京大学教授
松 本 堯 生	広島大学教授
松 本 宣 郎	東北大学名誉教授
溝 上 智恵子	筑波大学図書館情報専門学群長

宮岡礼子	東北大学教授
柳澤悠	千葉大学教授
山倉健嗣	横浜国立大学教授
山崎博敏	広島大学教授
山地啓司	新潟医療福祉大学教授
山辺規子	奈良女子大学教授
吉野博	東北大学教授
吉本道雅	京都大学教授
和田正三	九州大学特任教授